

当初の年間指導計画（横浜版学習指導要領で示した年間単元配列表）

月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
第2学年	体づくり運動③（ほぐし）	器械・器具を使った運動遊び⑩（固定・鉄棒）	走・跳の運動遊び⑮	水遊び⑩	表現リズム遊び⑩（表現・リズムダンス）	器械・器具を使った運動遊び⑩（マット）	ゲーム⑩（ボールゲーム〈手〉）	器械・器具を使った運動遊び⑧（跳び箱）	ゲーム⑤（鬼遊び）	体づくり運動⑭（多様な動きをつくる運動遊び）	ゲーム⑩（ボールゲーム〈足〉）

再編成後の年間指導計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
第2学年	各学校からの課題に応じた家庭学習	体づくりの運動遊び⑧（ほぐし③・多様〈移動・バランス〉⑤）	水遊び①			表現リズム遊び⑨（表現・リズム）	走・跳の運動遊び⑬（走・跳）	器械・器具を使った運動遊び⑧（固定施設・鉄棒）	ゲーム⑤（鬼遊び）	器械・器具を使った運動遊び⑨（マット）	体づくりの運動遊び⑥（多様〈用具・力試し〉）	ゲーム⑨（足）	器械・器具を使った運動遊び⑦（跳び箱）	ゲーム⑨（手）

※基本的に水泳の実技は扱わない。水泳の心得、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方について指導することとした。

※走の運動遊びの「障害物を置いてのリレー遊び」と跳の運動遊びを、跳の運動遊びの「助走」と走の運動遊びを併せて指導することとした。

「器具や用具を共用する必要がある単元は、実施をなるべく後に回すよう配慮した。」

領域及び領域の内容	内容の取扱い	学習指導要領に示された内容			時数	
		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等	当初の予定（）は1年時の実施時数	再編成後
A 体づくりの運動遊び	ア 体ほぐしの運動遊び	○	○	○	3(3)	3
	イ 多様な動きをつくる運動遊び	○	○	○	14(12)	11
B 器械・器具を使った運動遊び	ア 固定施設を使った運動遊び	○	○	○	3(3)	3
	イ マットを使った運動遊び	○	○	○	10(7)	9
	イ 鉄棒を使った運動遊び	○	○	○	7(5)	5
	ウ 跳び箱を使った運動遊び	○	○	○	8(8)	7
C 走・跳の運動遊び	ア 走の運動遊び	○	○	○	8(8)	7
	イ 跳の運動遊び	○	○	○	7(8)	6
D 水遊び	基本的に今年度は扱わない				10(10)	1
E ゲーム	ア ボールゲーム	○	○	○	20(20)	18
	イ 鬼遊び	○	○	○	5(8)	5
F 表現リズム遊び	ア 表現遊び	○	○	○	5(5)	5
	イ リズム遊び	○	○	○	5(5)	4
		各領域の各内容については、運動と健康が関わっていることについての具体的な考えがもてるよう指導すること				84

小学校学習指導要領 解説 体育編に「水泳運動系は生命にかかわることから、適切な水泳場の確保が困難で水泳運動系を扱えない場合でも、これらの心得については、必ず指導すること」とされていることから、新設の「ウ 安全確保につながる運動」の行い方についての理解も含めて指導することとした。